

1

【資料を読み取る力】

問い一 大川さんは、野菜作り名人の草野さんへのインタビューで、(1)(2)の質問をしました。インタビューの(1)(2)にはどんな言葉が入りますか。左の□の中から一つえらんでA～Dの記号を書きましよう。

(1)	C	①
(2)	A	②

正答 ※正しい記号を書いている。

誤答 ※正答以外の内容が書いてある。

無答 ※記述がない。

【資料を読み取る力】

問い二

(一) 右の《組み立て表》の「中」に使われたメモの記号を、《取ざいメモ》ア～エの中からえらんで、《組み立て表》の□の中に書きましよう。

くふう一	エ	③
くふう二	ア	④

正答 ※記号を正しく選択している。

誤答 ※別の記号を書いている。エとアが逆の場合も誤答とする。

無答 ※記述がない。

【資料を活用する力】

(二) 《大川さんが書いたしよかい文》の③のだん落の□には、もっとくわしく書いた方がよいが入ります。《取ざいメモ》の中からつけ足す内容を見つけて、文を書きましよう。

つけ足す文

なぜかというと、ホウレンソウの葉は水がついたままだと病気にかかってしま
うからです。 ⑤

正答 ※「葉がぬれると病気になる」「葉がぬれてもすぐかわくので病気にならない」という内容の記述がある。

誤答 ※つけ足す文が、取材メモの内容とかけはなれている記述がされている。

無答 ※記述がない。

【二】
 問い一 あなたは、次のどちらの内ようで書きますか。どちらかをえらんで（ ）に〇を書きましよう。

どちらの話題でもよいので採点しない。

【話題に沿って必要な事柄を選択する力】

問い二 あなたが問い一でえらんだAまたはBの内ように合う《取ざいメモ》をカ、ケの中から二つ選んで、左の に取ざいメモの記号を書き入れましよう。

問い一で、A「新商品を作るときにくふう」を選んだ場合

くふう一	カ	くふう二	ケ
------	---	------	---

※カとケは、順不同。

(完全正答) ⑥

問い一で、B「お客さんへのサービス」を選んだ場合

サービス一	キ	サービス二	ク
-------	---	-------	---

※キとクは、順不同。

※記号を二つとも正しく選択している。

※別の記号を選択している。

※記述がない。

この問題が誤答、または無答の場合、
 問い五【資料を活用して書く力】⑪
 も誤答とする。

【話題に沿って必要な事柄を選択する力】
 問い三 問い二で、他の取ざいメモを使わなかった理由を書きましよう。

Bを選んだとき	Aを選んだとき
<ul style="list-style-type: none"> ・新商品を作るときにくふうとはかんけいがない ・キとクは、お客さんに喜んでもらうためのサービスのくふうだ からです。 ⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんへのサービスとはかんけいがない ・カとケは、新商品をつくるときのくふうだ からです。 ⑦

正答

※話題の中心から外れたメモであるという趣旨の理由が記述されている。

※使わなかった理由の正答例

「新商品を作るくふう（または、たくさんのお客に来てもらうくふう）ではないから」

「しようかいしたい話題と合わないから」

「しようかい文の話題にかんけいがないから」

「きせつのくだものを使うことや見た目や大きさのくふうは新商品を作るくふうだから」

「のみのコーナーのせつちやスタンブカードの発行はお客さんへのサービスだから」

※使わなかった理由が正答の理由とかけ離れている。または、理由が不十分である。

※理由が不十分な誤答例

「使わない方がよいから」「かんけいがないから」「合わないから」「ちがうから」など何と関係ない（ちがう）のかが書いていなくて説明が不十分の場合。

※文末の「からです。」につながる文になっていない。

※記述がない。

無答

【全体の構成を考えて記述する力】

問い四 《組み立て表》の「終わり」には、しょうかい文のまとめが入ります。あなたがえらんだ内ように合うまとめの文章を、《大川さんが書いたしょうかい文》の④をさん考にして書きましよう。

Aを選んだ場合

このように、平田さんは、きせつのだものを使ったり、見た目や大きさのくふうをしたりして新商品を作っています。

Bを選んだ場合

このように、平田さんは、のみものコーナーをせつちしたり、スタンプカードを発行したりしてお客さんへのサービスをしています。

⑧

正答

- ①まとめの内容が、「始め」の部分（選んだ話題）及び「中」と対応している。
②Aは「くふう」「新商品を作る」、Bは「お客さんへのサービス」の言葉が入っている。
※①②二つの条件を満たしている。

【正答の許容例】

「このように、平田さんは二つのくふうをして新商品を作っています。」
「このように、平田さんはお客さんへいろいろなサービスをしています。」

誤答

※まとめの内容が、「始め」の内容（選んだ話題）と無関係である。
※まとめの内容が、一部分の事柄のまとめになっていて、全体のまとめになっていない。

【他の誤答例】

「このように、平田さんはきせつのだものを使ったり、見た目や大きさのくふうをしたりしています。」
「このように、平田さんはのみものコーナーのせつちやスタンプカードの発行をしています。」
↓「中」の繰り返しのみ。

「このように、平田さんは新商品を作っています。」
「このように、平田さんはお客さんへのサービスをしています。」
↓「始め」の文章を繰り返している。

無答

※記述がない。

問い五 あなたが作った《組み立て表》をもとにして、しょうかい文を書きましよう。

【時間内に指定された文字数で文章を記述する力】⑨

正答

※二二四字以上、三二〇字以内で書いている。

誤答

※二二四字未満、三二〇字を超えている。

無答

※記述がない。

【注意】

二二三字をこえていない場合は、⑩以降の問題は「無答」とする。三二〇字を超えている場合は、⑩以降の問題も採点の対象とする。

また、常体のみや敬体と常体が混在しているも本調査では許容とし、⑩以降の問題も採点の対象とする。

【段落を意識して記述する力】⑩

正答

※四段落で記述されており、それぞれの段落で書き出しの一字下げがきている。

※「始め」（紹介すること）・「中一」「中二」（くふう一・二）（サービス一・二）・「終わり」（まとめ）の四つの段落構成ができていれば正答とする。

誤答

※四段落以外の場合。

※書き出しの一字下げはあっても、その後（第二から第四段落）の改行がない場合。

※改行はあっても、一字下げがされていない場合。

無答

※段落が全くない場合。

【資料を活用して書く力】⑪

正答

※第二、第三段落に、《取ざいメモ》の内容を記述している。

「中」の部分は、順番が《組み立てメモ》と反対であっても正答とする。

※「まず」「次に」や「二つ目は」「二つ目は」「このように」という言葉がなくてもよい。

誤答

※問い二で、メモの選択が「誤答」「無答」の場合。

※解答者が選んだメモの中で、原稿に全く記述されていないメモがある場合。

※メモを正しく読み取ったとは思われないような記述がある場合。

無答

※一つもメモの内容に触れずに記述している場合。

【解答例】

① わたしは、平田さんが新商品を作るときにくふうしていることをしようかいたします。

② まず、きせつのくだものを使うことです。春はイチゴ、夏はメロンなど、きせつごとに、おいしいくだものがあります。新商品にくだものを使い、きせつを感じてもらおうようにしています。

③ 次に、見た目やサイズのくふうです。お客がおいしそうだと思うようないろどりを考えています。また、子どもでも食べやすい大きさにしています。

④ このように、平田さんは、きせつのくだものを使ったり、見た目や大きさのくふうをしたりして新商品を作っています。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

① ぼくは、平田さんがお客さんへサービスしていることについて発表します。サービスは、二つあります。

② 一つ目は、のみのコーナーのせちです。コーヒーや紅茶などをむりょうでのむことができます。また、買ったケーキも店の中で食べられます。

③ 二つ目は、スタンプカードの発行です。五百円でスタンプを一こおしてもらえます。スタンプ三十こで、お客さんの好きなケーキを一つサービスしています。

④ このように、平田さんは、のみのコーナーをせちしたり、スタンプカードを発行したりして、お客さんへのサービスをしています。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳